

## 決算書分析 2 級



【第 1 問】キャッシュフロー計算書の作成・見方等に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- (1) 損益計算書で利益が黒字なのに、キャッシュフロー計算書上で営業活動によるキャッシュフローが赤字である場合は「勘定あって銭足らず」の状況である。
- (2) フリーキャッシュフローが黒字であれば借入金返済や社債償還など負債減少に回すことができ、財務内容の健全性は向上する。
- (3) 無理な押し込み的な販売をして売掛債権を増加させると、営業活動によるキャッシュフローはプラスに作用する。
- (4) 急成長をしている企業の中には、営業キャッシュフローが大幅な黒字でも、莫大な先行投資を行うため、投資キャッシュフローの大幅な赤字から、フリーキャッシュフローが赤字となる場合もある。
- (5) キャッシュフロー計算書の「投資活動によるキャッシュフロー」欄には、有価証券の取得、売却、有形固定資産の取得、売却、投資有価証券の取得、売却などの取引に係わるキャッシュフローが記載される。

解答 (3)